

(別表第1の4)

事業所名 グループホーム きらり

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 2月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向け取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	13	開設後間もなく2年が経とうとしている。数名の職員の交代もあり、職員を育てる、大変さを感じている。また職員個々にも知識・技術・介護への姿勢等色々な面で違いがあり、日々の業務にも影響があり、入居者様へのサービスにも影響している。	統一したケアサービスができる。 マニュアルの作成を行う。 認知症介護を理解し、実践できる。	①認知症介護の研修会への参加・勉強会の実施をおこなう。 ②研修の報告会を開き、他職員も学べる。 ③マニュアルを職員皆で作成する。 ④カンファレンス・ミーティングの充実を図る	24 か月	
2	49	外出を希望されても、即日対応出来ない事が多い。そのため、機嫌不良となる方がおられる。外出の出来るような業務の見直しを進めているが、個々の職員の意識に温度差がみられる。	一人一人の希望に沿った外出支援が出来る。	①忙しくて出来ないと言う職員からの声に対し、業務の見直しを行う。現在行っている。 ②外出の効果という物を理解できる。 ③担当者の外出へのニーズの把握を行う。 支援方法をカンファレンス等で話し合う。 ④認知症の方への支援についての研修参加・勉強会を行う。	12 か月	
3	1	施設の理念はあり、各場所にも掲示し、職員も理解は出来ていると思うが、その理念に向かって介護を実践出来ているかと思われる。疑問がある、そのためより具体的な(ユニット)理念の構築が必要ではないかとおもわれる。また施設の理念・ユニットの理念(目標)を達成するための、職員個々の目標を明確に示す必要を感じる。	1:ユニット目標を築く 2:個々の目標を立てる 3:目標を達成出来る	①個人面接を行い、理念への理解の確認をおこなう。同時にユニットの理念(目標)の構築への指導を行う。 ②半年に一回の評価面接において、個々の目標を立てているが、現在の達成状況の把握をする。 ③ユニットリーダーとの会議において、理念・目標の話を持ち、今後の方針を決定する。	12 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。